

被爆78周年 原水爆禁止世界大会開催！！

福島



7月30日に福島県飯坂町のパルセいいざかで行われた被爆78周年原水爆禁止世界大会福島大会に参加してきました。福島原発事故から十二年が経過し、放射能汚染水海洋放出と原発回帰に向けた動きへの不安を考えながら参加しました。

今回集会に参加して原発回帰、再稼働に対して悲惨な事故を繰り返さず悲しい思いをさせないために、苦しむ訴えが無くなるまで反対運動は止められないと強く思いました。今後も反対運動に力を入れ、原発事故は一度事故を起こせば健康と生活は元には戻せないということを広めていきます。

全港湾東北地方青年婦人部 副部長 小國巧美

被爆78周年原水禁世界大会・広島大会

8月4日～6日の被爆78周年原水爆禁止世界大会・広島大会に参加しました。折鶴平和行進、開会総会に約2,100人が参加し開催されました。

反戦・反核運動を継続していかなければなりません。被爆者の平均年齢も80歳を超えるなど、参加者の高齢化が進んでいます。若い世代への継承を如何にしていくかが重要な課題であると思います。負の遺産を次世代へ残してはなりません。みんなで考えていきましょう。そして核兵器、原発は廃絶させましょう。

大阪支部 関谷和人 和泉清

広島



架空の廃炉完了時期とスケジュールの進捗を重視する廃炉計画
中長期ロードマップ第6版(2019年12月改訂)

中長期ロードマップの期間区分

期間	内容
2021年10月1日以前	燃料プールの取り出しが開始されるまでの期間
2021年10月1日～2022年3月31日	燃料プールの取り出しが完了するまでの期間
2022年4月1日～2022年9月30日	廃炉完了までの期間

廃炉完成の姿は描けないのに、廃炉完了は事故後30～40年

- 使用済み核燃料の取り出し 1・2号機は再延期
- デブリの取り出し 2号機で21年から→22年に延期 →さらに1年半程度
- 汚染水対策 2021年4月13日 政府は海洋放出方針を決定

ミライノウミ project

- 呼びかけ団体：原子力資料情報室 (CNIC) / 原水爆禁止日本国民会議 (原水禁) / 福島県平和フォーラム 他、このキャンペーンに賛同する団体を募集しています。
- 私たちの主張
 - 1. 廃炉完了を待たずに、放射能汚染水海洋放出を止めよう。
 - 2. 福島県内、周辺地域に放射能汚染水が漏れだすのを防ぐため、タンクの増設等を検討するべきです。
 - 3. 放射能汚染水海洋放出は、福島県内、周辺地域に放射能汚染水が漏れだすのを防ぐため、タンクの増設等を検討するべきです。
 - 4. 放射能汚染水海洋放出は、福島県内、周辺地域に放射能汚染水が漏れだすのを防ぐため、タンクの増設等を検討するべきです。
- 賛同 (Google フォーム) ・賛同金 (READYFOR) をよろしくお願いたします。



—被爆78周年原水爆禁止世界大会・長崎大会 開会行事/国際シンポジウム—
核も戦争もない平和な21世紀に!



—被爆78周年原水爆禁止世界大会・長崎大会 開会行事/国際シンポジウム—
核も戦争もない平和な21世紀に!



福島

全体集会では高校生平和大使の話や、小野さんという漁業関係の仕事をしている方の話が私の中では印象に残っており、今、大きな問題となっているアルプス処理水の海洋放出のことにについて話を聞きました。12年前は「海に流してはいけない」といっていた東京電力側は意見をコロッと変え、「海に流しても大丈夫」などと言っています。福島は今、アルプス処理水の海洋放出問題や若い人の甲状腺がん問題と大きな問題に取り組んでいかなければならないと思います。我々若い世代が真剣になって福島を守っていかなければならないと強く思いました。

全港湾東北地方小名浜支部 青年部部长 松村海斗

被爆78周年原水爆禁止世界大会長崎大会に参加して

この原水禁世界大会の大きな柱として「次世代継承」ということを位置付けてあり、いつの時代であっても、どれだけ未来であっても、私たちがどう生きるか、私たちが選ぶことができる、あたり前の暮らしを引き継いでいくことが重要と考える。そのために、今できることを考え、工夫して取り組んでいくことが必要なのは言うまでもなく、全国はもちろん世界中の皆さんと連帯し、各地域での原水禁運動や反戦平和運動に取り組んでいくことを申し上げ、報告といたします。

長崎県支部 松崎 大悟

被爆78周年 原水爆禁止世界大会・福島大会
核も戦争もない平和な21世紀に!

放射能汚染水の海洋投棄を止めよう
原子力規制委員会 共同代表 岸 高志さん



1カ国でも多くの批准を求めます
Call for ratification in even one country



長崎

